

## 展示室1 近代美術館の名品

当館の名品を、昨年度の新収蔵品を交えて展示紹介します。

作家名	作品名	制作年	技法、素材	
中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971年	紙本彩色	
小林 ドンゲ	花(堀口大學詩集『夕の虹』所収)	1957年	エンブレイヴィング、エッチング、アクアチント	
小林 ドンゲ	くも(堀口大學詩集『夕の虹』所収)	1957年	エンブレイヴィング、エッチング	
堀口 大學	詩集『夕の虹』限定版 小林ドンゲ挿画	1957年	書籍	
佐々木 象堂	鑄銅花文花瓶	大正後期	蠟型鑄銅	
佐々木 象堂	鑄銀馬置物	1933年	鑄銀	
津田 信夫	鑄銅鳳凰置物	1940年	鑄銅	
津田 信夫	銅鑄壺・波光連如	1942年	鑄銅	
香取 秀眞	斑紫銅鑄銅壺	制作年不明	鑄銅	
目黒 順三郎	彫漆小笹文箱	1988年	彫漆	
目黒 順三郎	彫漆雪割草文箱	1989年	彫漆	
目黒 順三郎	彫漆丘小屏風	1950年	彫漆	
目黒 順三郎	彫漆「網」屏風	1955年	彫漆	
吉田 醇一郎	飾り衣桁	1938年	岩絵具、漆、木	
吉田 醇一郎	小硯箱	1944年	岩絵具、漆	
広川 松五郎	襖絵紅梅図(光琳梗概図)	1946年頃	麻地、染色	
番場 春雄	残雪の椿園	1972年	紙本彩色	
安宅 安五郎	姉弟	1931年	油彩、キャンバス	
牧野 虎雄	サンルーム	1929年	油彩、キャンバス	
安井 曾太郎	読書	1942年	油彩、キャンバス	
新保 兵次郎	帰巢	1969年	油彩、キャンバス	
平澤 熊一	草むら	1960年代	油彩、キャンバス	
木村 忠太	桜樹のある村	1984年	油彩、キャンバス	
クロード・モネ	コロンブの平原、霜	1873年	油彩、キャンバス	
フィンセント・ファン ＝ゴッホ	長い棒を持つ農婦	1885年	油彩、キャンバス	寄託作品
ポール＝エリー・ラ ンソン	収穫する7人の女性	1895年	顔料、キャンバス	
ジークフリート・ビン グ編	『芸術の日本』	1888-91年	書籍	

## 回廊

竹田 庸宏	Under the leaves	1994年	FRP、ウレタン塗装
-------	------------------	-------	------------

## ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998年	FRP、ウレタン塗装
-------	---	-------	------------

## 展示室2 命脈 —命と美のつながり—

所蔵品の中から、血縁関係にある作家たちの作品をご紹介します。  
作家たちは、身近な存在である家族に触発されながらも、それぞれの個性を開花させます。それぞれの個性豊かな作品をお楽しみください。

作家名	作品名	制作年	技法、素材
<b>三輪 大次郎・晁勢・晃久</b>			
三輪 大次郎	高原の朝	制作年不明	油彩、キャンバス
三輪 大次郎	睡蓮の沼	制作年不明	油彩、板
三輪 大次郎	苺	制作年不明	油彩、板
三輪 大次郎	秋の森	制作年不明	油彩、キャンバス
三輪 大次郎	米を洗う女	制作年不明	油彩、キャンバス
三輪 晁勢	アダヂオ	1949年	紙本彩色
三輪 晁勢	樹	1965年	紙本彩色
三輪 晁勢	菖蒲	1980年	紙本彩色
三輪 晁勢	街	1951年	紙本彩色
三輪 晃久	街	1976年	紙本彩色
三輪 晃久	秋氣	2000年	紙本彩色
三輪 晃久	明けゆく	1985年	紙本彩色
三輪 晃久	地	1980年	紙本彩色
三輪 晃久	山川悠遠	1997年	紙本彩色
三輪 晃久	森	1977年	紙本彩色
三輪 晃久	苑	1974年	紙本彩色
<b>北村 四海・正信</b>			
北村 正信	髪	1966年	大理石
北村 四海	すみれ	1920年	大理石
<b>戸張 幸男・公晴</b>			
戸張 幸男	片隅の男	1955年	ブロンズ
戸張 公晴	TORSO	1990年頃	ブロンズ
<b>原 直樹・正樹 原 益夫</b>			
原 直樹	鋳銅壺銘花苑	1965年	鋳金、銅
原 正樹	曲面の斜角柱	1970年	鋳金、真鍮
原 益夫	エンドレス	1997年	鋳金、銅
<b>大矢 紀・十四彦</b>			
大矢 紀	北に花咲く	1973年	紙本彩色
大矢 紀	北岬	1976年	紙本彩色
大矢 十四彦	明けゆく	2001年	紙本彩色
大矢 紀	信仰の島	1979年	紙本彩色
大矢 紀	清韻	1994年	紙本彩色
大矢 紀	煌	2005年	紙本彩色

## 宮田藍堂(二代)・宏平・脩平・亮平

宮田 藍堂(二代)	蠟型鑄銅ひねり「蓮の余情香炉」	1972年	蠟型鑄金、銅
宮田 脩平	トルソ(一対)	1975年	ステンレス
宮田 亮平	ゲルからの移行Ⅲ	1979年	鍛金、アクリル・鉄・クロームメッキ
宮田 宏平(三代藍堂)	蠟型鑄金・終わりのない物語「恋秤」	1983年	蠟型鑄金、金・銀・白銅・カラーアクリル

## 難波田 龍起・史男

難波田 史男	無題	1962年	水彩・インク
難波田 史男	夏の川とボート	1967年	水彩・インク
難波田 史男	無題	1971年	水彩・インク
難波田 史男	無題	1971年	水彩・インク
難波田 龍起	三角と円B	1957年	水彩
難波田 龍起	街の印象	1984年	水彩
難波田 龍起	森の詩	1960年	油彩、キャンバス
難波田 龍起	生成の詩B	1992年	リトグラフ

## 展示室3 堺時雄 ピクトリアリズムへの招待

「ピクトリアリズム」とは、19世紀半ばのロンドンから始まった、写真の芸術性の確立をめぐる動向のことです。1919年に東京美術学校臨時写真科に入学して頭角を現し、その後志願兵となりながらも多数の芸術写真を残した堺時雄のピクトリアリズムを紹介します。

作品名	制作年	技法、素材
<b>1.東京美術学校時代</b>		
邁進の意気	1922年	モノクロームプリント
死の花	1920年	モノクロームプリント
題不明(少女)	1922年	モノクロームプリント
修道院の壁	1921年	モノクロームプリント
大連郊外	1922年	モノクロームプリント
レクイエム	1922年	モノクロームプリント
<b>2.富士山／雲</b>		
題不明(富士山)	1922-24年	モノクロームプリント
富士山	1922-24年	モノクロームプリント
富士山暮色中庭	1928-35年	モノクロームプリント
題不明(雲)	1922-24年	モノクロームプリント
雲17	1922-24年	モノクロームプリント
題不明(山脈と雲)	1922-26年	モノクロームプリント
<b>3.海</b>		
題不明(海辺あるいは日本海の落日)	1922年	モノクロームプリント
題不明(海辺)	1922-26年	モノクロームプリント
題不明(海辺の舟)	1922-26年	モノクロームプリント
題不明(波)	1922-26年	モノクロームプリント
題不明(波)	1922-26年	モノクロームプリント

---

題不明(猫柳)	1936-41年	モノクロームプリント
---------	----------	------------

#### 4.風景

題不明(さざなみ)	1922-26年	モノクロームプリント
題不明(睡蓮)	制作年不明	モノクロームプリント
築地	1927年	モノクロームプリント
禅(あるいは蟬)古の閑	1928年	モノクロームプリント
題不明(外人墓地)	1928-33年	モノクロームプリント
題不明(軽井沢万平ホテル)	制作年不明	モノクロームプリント
新潟砂丘(本館時代)	1928-33年	モノクロームプリント

#### 5.人

シルエット	1926年	モノクロームプリント
題不明(婦人像 横顔)	1926年	モノクロームプリント
ソフィア(婦人像 正面)	1926年	モノクロームプリント
ソフィア(婦人像 斜め右向き)	1926年	モノクロームプリント
《窓辺》あるいは《窓辺の女の子》	1927年	モノクロームプリント
ヘティ高	1928-32年	モノクロームプリント

資料 堺時雄 ガラス乾板

#### ※映像紹介

堺時雄 ガラス乾板 映像 20分

(東京美術学校時代/主婦の友社の頃I/航空写真/主婦の友社の頃II-IV/広告写真から芸術へ/風景写真/ピクトリアリズムI-III)

早春	1927年	モノクロームプリント
下萌	1926年	モノクロームプリント
異人池(新潟カトリック教会付近)	1922-26年	モノクロームプリント

#### 6.空

戦闘中の美観	1925-26年	モノクロームプリント
資料 紅谷吉之助編『アシヤ写真サロン1935』		
題不明(雲と飛行機)	1925-26年	モノクロームプリント
題不明(雲)	1922-24年頃	モノクロームプリント

#### 7.静物/コラージュ

静物	1930年	モノクロームプリント
題不明(ハンカチとクローバー II)	1928-33年	モノクロームプリント
題不明(花とシルエットとレコード)	1928年	モノクロームプリント
題不明(ビクターレコード)	1928-33年	モノクロームプリント
題不明(花と骸骨のコラージュ)	1936-41年	モノクロームプリント
《芸術は不朽》あるいは《吾魂の墓》	1920年	モノクロームプリント